

はじめに

皆さんは将来のテクニシャンを目指して、カレッジ^(注1)に入学しました。皆さんは将来の社会生活の中で、テクニシャンという職業分野を選択したことになります。その選択にはとても重要な意味があります。

人生の中では、常に様々な方向へ進むことが可能な分岐点に幾度か出会います。皆さんがこのカレッジを選んだことは、一つの分岐点で、その中の一つの方向を選択したことになります。

この選択は、高校の先生または親や知人、あるいは先輩の紹介がきっかけであったかもしれません。しかし、その選択は自分自身の将来の生活の基盤となるための職業の分野を選択したことになります。たとえ親や先生の強い指導があったとしても、このことは誰の責任でもなく、自分の責任で将来の方向を決定したのです。あなたが決定したこの職業分野の選択は、社会で自立するために未来に向かって歩み始めるあなたの決意の表明なのです。

この自分の進路決定に自信を持たなくてはなりません。その決定には勇気が必要だったはずです。自分のことを自分で決定したのだということに自信を持って下さい。

あなたがテクニシャンになるということは、プロの仕事人をめざすということなのです。プロになるためには何事も長い厳しい訓練を要します。テクニシャンになるという夢を実現することは遊びながら叶うものではありません。皆さんの先輩はその心境を「『大学は遊ぶ所』と聞かされていたので楽しみに入学したところ、カリキュラム的に遊びはおろか、アルバイトさえもままならない状況でした。」^(注2)のように述べています。

しかし、「カリキュラムが過密で、……学生時代はつらいことも有りました。

(注1) 職業能力開発大学校、職業能力開発短期大学校を総称して「カレッジ」という言葉で表します。

(注2) 以下、ゴチック体はカレッジ修了生が寄せた言葉を引用したものです。

たが、今ではそのことが大変役立っています。本当に心から職短大を卒業して良かったと思っています。」という意見が多いのです。役立つことを身につけるのに楽な方法はありません。「楽は苦の種、苦は楽の種」と先人も言います。あなたに学ぶ目標がまっすぐ見えていれば、新しい知識や技術を身につけることがどんどん楽しくなるものです。

このカレッジで学ぼうとしている実習や専門学科は、将来の仕事の基礎・基本です。そして、この授業で学ぼうとしていることは、「仕事」とは人生の中で社会の中で、どのような意味を持つのかを考え・学ぶことです。この授業では「仕事を学ぶ意味」について、授業担当者や友人、多くの先生方からのご意見を聞きながら、あるいはテレビ番組などを見ながら、本書をてがかりとして一緒に考えてもらえれば幸いです。皆さんが自分自身をプロの仕事人として“育てる”ためにはどのように考えてゆけばよいか、そのための様々な情報と考え方を出来るだけ多く紹介します。

本書は、皆さんがテクニシャンになるためにこれから学ぼうとしている、楽ではない実習や専門学科の意味を考えてもらうためにまとめられています。しかし、世間で言う“教養”としてのそれではありません。「教養」という言葉の、その意味する内容は、その昔、働かなくてもよい貴族や武士などが学ぶものとされてきたものを、明治期に整理し造られた言葉なのです。すなわち、働く人を想定した学習ではなかったのです。

新たなことを学ぶことは誰でもが不安を持つものです。その不安を取り除くためには学んだことをきちんと習得することと、その学ぶことが大切なのだと言うことに確信を持つことです。その意味で、本書は皆さんが目指している「テクニシャンのバックボーン」になるものです。プロの仕事人としての自立を考えているあなたに不可欠な基礎知識になるはずです。

そして将来、皆さんが“楽しんで仕事ができる”ようになることを期待しています。

目 次

はじめに	
序章 これからやるべきことを考えよう！	1
第1部 「テクニシャン」を目指すこと	
第1章 誰とでもコミュニケーションが出来る人になろう！	11
第2章 先輩はどのように学び、働いているのだろうか？	23
第3章 企業は何を期待しているのだろうか？	31
第4章 不登校児がなぜ出るのだろうか？	39
第5章 ダブル・スクール族はなぜ出るのだろうか？	45
第6章 フリーターになぜなるのだろうか？	53
第7章 「テクニシャン」とは何だろうか？	61
第2部 「仕事を学ぶ」意味	
第8章 「働くこと」とは何だろうか？	69
第9章 「職業」とは何だろうか？	75
第10章 他国の教育訓練はどのようになっているのだろうか？	83
第11章 「仕事を学ぶ論理」とは何だろうか？	99
第12章 「仕事を学ぶ」とは何だろうか？	107
第13章 「技能の役割り」とは何だろうか？	115
第14章 実習はなぜ楽しいのだろうか？	127
第15章 実習で身に付くものは？	131
第16章 創造性はどのようにして生まれるか？	137
第17章 仕事の学び方には方法があるのだろうか？	153

第3部 「職業を学ぶ」社会の制度

第18章 優秀な社員がたくさんいる企業	163
第19章 日本の“職業社会”はどのように変化しつつあるのだろうか？	173
第20章 職業を学ぶためにどのような公的制度があるのだろうか？	183
第21章 皆さんはなぜ職業を格安で学べるのか？	191
第22章 真に仕事を学べる場所は「仕事場」である！	195
第23章 職業を学ぶ制度はどのように発展して来たのだろうか？	201
第24章 職業を求めて社会へ踏み出そう！	209
第25章 いずれ指導的立場になる時が来る！	221
おわりに	229
主要参考文献	231
お 礼	233